

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) サノヤス造船株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 530-6109 大阪市北区中之島三丁目3番23号
----	---------------------------	----	---

本票作成	部署名： 艤装工作部 動力施設課
------	------------------

主たる業種	分類コード	31	業種名： 輸送用機械器具製造業
-------	-------	----	-----------------

事業の概要	船舶製造 載貨重量83,000トンばら積貨物船相当で年間7隻建造
-------	-------------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島製造所	倉敷市児島塩生2767番地21

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                    1    所                    ●車両台数 (②該当の場合)                    台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	12,800 t CO <sub>2</sub>	10,169 t CO <sub>2</sub>	12,160 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25 )年度排出量
	①	水島製造所	10,169 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：                    平成 22 年度                    ～                    平成 26 年度                    (                    5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 25 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 14.9 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 鋼材加工重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 25 ) 年度	目標年度
		113.3 kg CO <sub>2</sub> /( t )	130.2 kgCO <sub>2</sub> /( t )	107.6 kgCO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成25年度は、設備的な取組は予定通り実施した。  
 各エネルギー使用量は減少しているが、電気のCO<sub>2</sub>排出量係数が平成24年度に比べ112.3%と増加した事に加え、操業量ダウンにより鋼材加工重量が大きく落ち込んだ事により、原単位基準では基準年度より14.9%の増加となってしまった。  
 原単位基準で5%の削減を目標と掲げており、平成26年度が計画期間の最終年度であるが、目標達成の為にはさらなる取組が必要である。

**【推進体制】**

毎月開催の省エネ委員会において、省エネ取組の計画立案とともに、決定された項目の実践に向けての情報発信を行った。  
 設備管理部門において、下欄に記載の設備面での措置項目について、実現に向けての具体的計画の立案を行った。  
 ISO14001に基づく、環境管理体制のもと、下欄のその他特記事項に記載の取組を行った。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島製造所	(25年度実施分) ・省エネ委員会をベースとした、省エネに対する取組の展開。 照明スイッチの細めな入・切。(昼休の消灯等) エア－漏れによる損失の削減の推進。 船舶陸電の昼休カット。 (CO2削減量 10t/年) ・二次変電所の変圧器を高効率型へ代替。(3台) (CO2削減量 27t/年) ・エアハンドリングユニットのインバータ化。(5台) (CO2削減量 28t/年) ・現場変圧器の電源にU V T 取付。(38台) (CO2削減量 9t/年) ・構内エアの圧力設定の見直しによる吐出圧力減圧。 (CO2削減量 191t/年) ・清工水ポンプの圧力設定の見直しによる吐出圧力減圧 (CO2削減量 146t/年)  (今後実施予定分) ・二次変電所の変圧器を高効率型へ代替。 ・飲料自販機の省エネ型への代替。 ・事務所エアハンドリングユニットのインバーター化。 ・屋外照明を省エネ型への更新。

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

・クール・ビズ運動を展開している。(継続取組事項)  
 ・ISO14001に基づく取組(継続取組事項)  
     全休日設定による省エネの推進。  
     TV会議推進による人の移動削減。